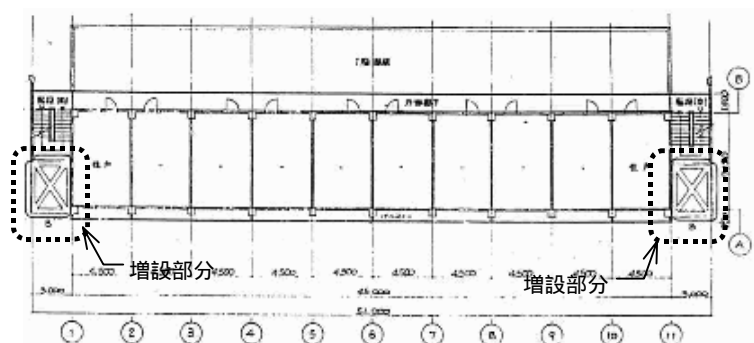


建物外に増設した耐力壁による耐震強度の向上

建物の使用勝手を変えずに耐震性を改善することが条件であった。強度形の建物であったこと、建物周囲敷地に少しの余裕があったことから、場所をとらずに高い強度剛性を確保できる耐力壁フレームを建物外部に増設し、既存建物と緊結した。

[特徴]

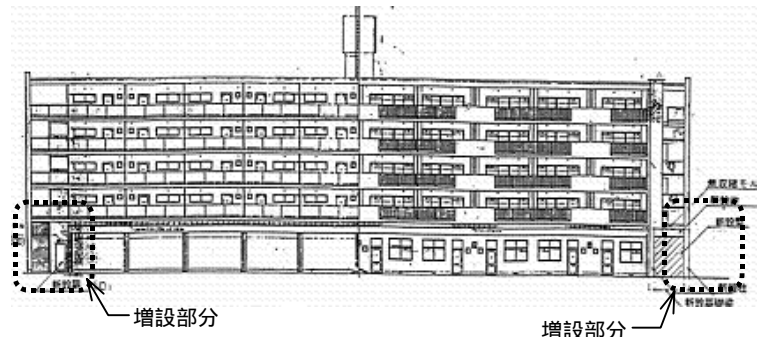
- ・増設する耐震壁の厚さ、長さを調整することによって耐震グレードは自由に調整できる
- ・建物内の工事が不要であり、工事中の日常生活への影響は僅か
- ・改修後の建物内部機能は、改修前とまったく変わらない
- ・コンクリート構造物であるため、ほとんどメンテナンスフリー
- ・特殊な材料・部材が不要なため安価



建物改修後平面図

[性能・適用条件]

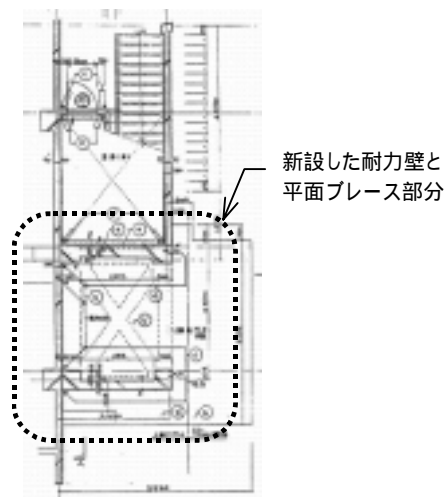
- ・強度を直接付加するため、構造的に明快
- ・低層の強度形建物向き
- ・地盤が悪い場合は杭工事が必要



建物改修後立面図

[建物概要]

- ・所在地: 東京都武蔵村山市
- ・主用途: 共同住宅
- ・建築面積: - m^2
- ・延床面積: - m^2
- ・階数: A, B, C棟とも地上5階/地下-階
- ・構造種別: 鉄筋コンクリート造
- ・標準工期: 7ヶ月
- ・標準工費: 3300万円
- ・採用補強法: -



建物外部に増設した耐力壁部分平面図